

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



公開授業「商業科:ビジネス基礎」



グラウンド脇校地の桜並木



全体会講演



宮城県 宮城広瀬高等学校

宮城広瀬高等学校は、広瀬川の清流に近い仙台市西部の閑静な住宅地に位置し、南には蕃山ばんざん、北方には船形山ふねがたやまを望む豊かな自然環境のなかにあります。桜並木に囲まれ、400mトラックがとれる広大なグラウンドを有するほか、近年、さまざまな施設がリニューアルされて教育環境が整い、部活動も盛んに行われています。

本校は、2015、2016年度に宮城県金融広報委員会から金融教育研究校の委嘱を受け、「金融に関する健全な意思決定を行い、経済的に自立した生活を営むために、

必要な金融に関する意識、知識、技術、態度及び行動を育成すること」をテーマに、公民科・家庭科・商業科などの各教科が連携し、教科横断的な取り組みを推進しながら、金融教育の実践と効果的な指導の研究を進めてきました。具体的には、市内の銀行店舗での研修で預金受け入れ事務などを体験したほか、通貨の

価値を考える円高と円安のデイベートや、ライフイベント表を活用した経済的に自立するための家計管理を考えるグループ学習などを行いました。この2年間の教育を通じて生徒たちは、金融のシステムを理解し、賢い消費行動をとる、堅実な資産運用を行うために必要な力を身に付けつつあるように思います。また、これらの学習を終えた生徒からは、主体的に考え行動する姿が感じられる場面が数多くあり、金融教育は社会に出たときに役立つ効果的な教育であることを実感しました。

将来、お金と無縁の生活をするわけにはいきません。そのなかで賢明なお金の使い手になる必要性を理解し、生涯お金と付き合っていく力を育むためには、実体験を通して、また身近な事柄を取り上げながら、さまざまな指導をすることが子どもたちの力につながることを考えています。今後教科の枠を超えて、金融教育に取り組み続けていきます。